

大飯発電所3号機 第18回定期検査の概要

1. 主要工事等

今回の定期検査では、大型機器や1次系配管等の取替えおよび増改造工事はありません。

2. 設備の保全対策

2次系配管の点検等 (図参照)

当社の定めた「2次系配管肉厚の管理指針」に基づき、2次系配管848箇所について超音波検査(肉厚測定)等を実施します。

また、今後の保守性を考慮した部位31箇所を耐食性に優れたステンレス鋼もしくは低合金鋼の配管に取り替えます。

3. 燃料集合体の取り替え

燃料集合体全数193体のうち57体(うち、52体は新燃料集合体)を取り替える予定です。なお、新燃料集合体52体は全て最高燃焼度55,000MWd/tの高燃焼度燃料です。

4. 今後の予定

原子炉起動、臨界：2020年 9月下旬

調整運転開始：2020年 9月下旬

本格運転再開：2020年10月下旬

なお、定期検査の作業工程については、別紙を参照下さい。

以 上

大飯発電所3号機 第18回定期検査の作業工程

2020年7月20日から以下の作業工程で実施します。

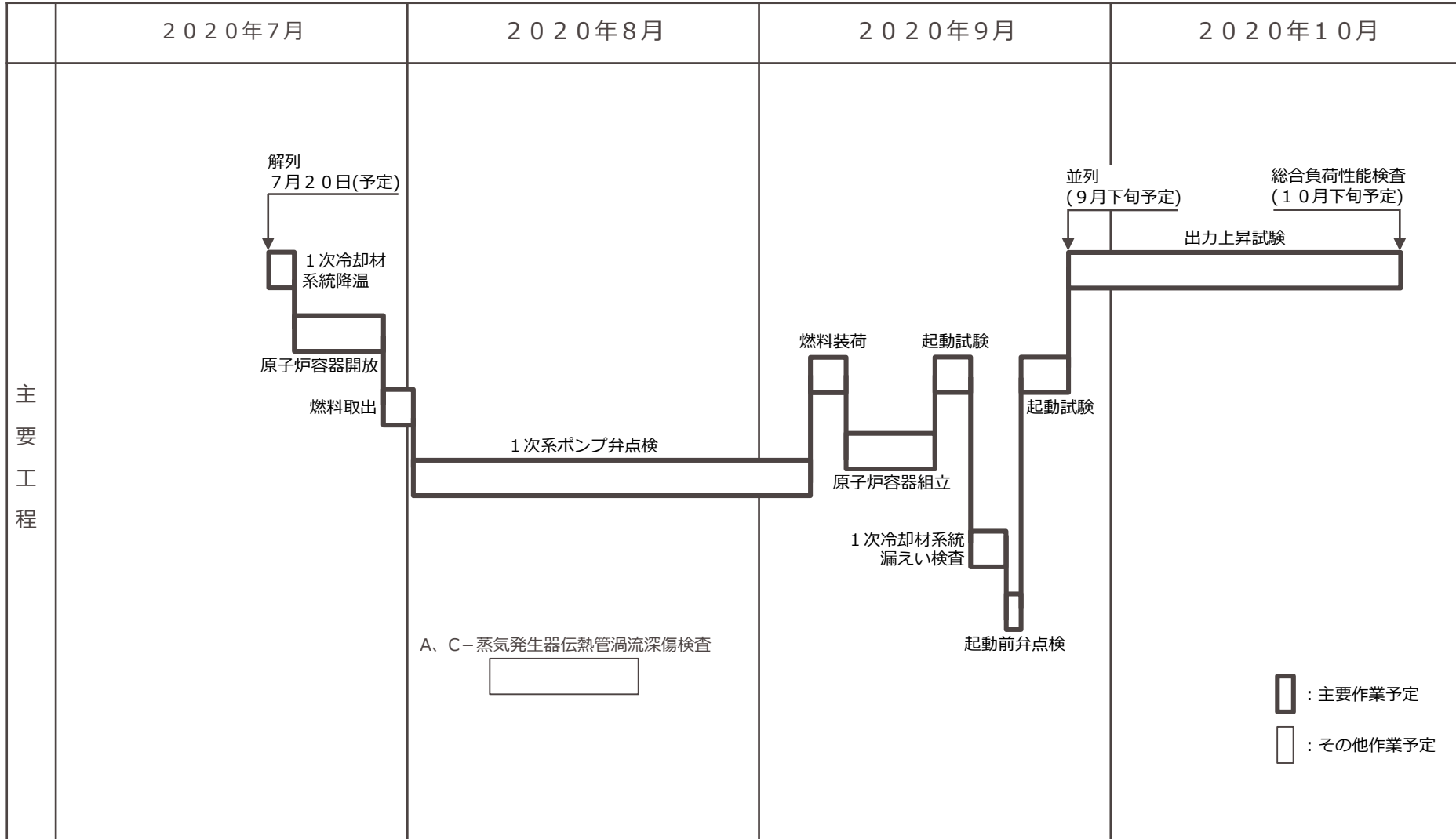


図 2次系配管の点検等

工事概要

今定期検査において、848箇所について超音波検査(肉厚測定)等を実施する。
 <超音波検査(肉厚測定):820箇所、内面目視検査:28箇所>

○2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査(肉厚測定)部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」 の点検対象部位	今回点検実施部位
主要点検部位	1, 303	595
その他部位	1, 272	225
合計	2, 575	820

○2次系配管の管理指針に基づく内面目視点検

高圧排気管の直管部28箇所について、配管内面から目視点検を実施する。
 その結果、配管内面に減肉が認められれば、超音波検査(肉厚測定)を実施する。

取替範囲概略図

今後の保守性を考慮した部位31箇所を、耐食性に優れた低合金鋼もしくはステンレス鋼の配管に取り替える。

<系統別概要図>

